

March 5, 2020

【前日の為替概況】NY株高・好調な米経済指標でドル反発、対円107.57円、対ユーロ1.1096ドル

4日のニューヨーク外国為替市場でドル円は反発。終値は107.53円と前営業日NY終値(107.13円)と比べて40銭程度のドル高水準。米大統領選の民主党候補指名争いで中道派のバイデン前副大統領が躍進すると米国株が急伸したこと、2月ADP全米雇用報告や2月米ISM非製造業指数が予想を上回ったこともドル買い要因。半面、ユーロ円やカナダドル円など一部クロス円の下落につれた売りが出てドル円の上値を抑えた。「17-18日のFOMCで追加緩和を決断する」との観測が浮上していることもドルの重し。

ユーロドルは5営業日ぶりに反落。終値は1.1136ドルと前営業日NY終値(1.1173ドル)と比べて0.0037ドル程度のユーロ安水準。2月仏・独・ユーロ圏サービス部門PMI改定値が予想を下回ったこと、欧州委員会がフランスとイタリアのリセッションリスクを指摘したこともユーロ売り・ドル買いを促し、1.1096ドルと日通し安値を付けた。欧州中央銀行(ECB)は臨時会合を開催したものの利下げなど金融政策については協議されなかった模様。短期金融市場では12日ECB理事会で0.10%の利下げが織り込まれている。

ユーロ円は小反発。終値は119.75円と前営業日NY終値(119.69円)と比べて6銭程度のユーロ高水準。予想を下回る欧州PMI改定値や仏伊のリセッションリスクなどが嫌気されて119.04円まで下落した。

ユーロ圏各国の財務相は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて電話協議し、「財政措置を含むさらなる政策をとる準備はできている」との声明を発表した。

カナダドルは軟調。カナダ銀行(BOC)は、政策金利を0.50%引き下げて1.25%にすると発表。市場では0.25%の利下げを予想する向きが多かっただけに、マーケットはカナダドル売りで反応し、対米ドルは1.3431カナダドル、対円は79.89円付近までカナダドル安に振れた。BOCは声明で「世界的に新型コロナウイルスの感染拡大が進む中、必要なら追加利下げを行う用意がある」と表明した。

【本日の東京為替見通し】ドル円、NY株高で底堅い展開もFRB追加利下げ観測で上値は限定的

本日の東京市場のドル円は、ダウ平均が1173.45ドル(+4.53%)上昇したことを受けて底堅い展開が予想されるものの、米連邦公開市場委員会(FOMC)での追加利下げ観測から上値は限定的か。

NY株式市場は、米大統領選の民主党候補指名争いで中道派のバイデン前副大統領が躍進したこと、2月のISM非製造業景況指数(57.3)やADP全米雇用報告(+18.3万人)などを好感して上昇しており、シカゴ日経平均先物も大阪比で260円上昇していることで、ドル円は底堅い展開が予想される。しかし、3月17-18日のFOMCでは、0.25%程度の追加利下げ観測が高まっていることで、ドル円の上値は限定的だと思われる。3月12日の欧州中央銀行(ECB)理事会では、政策金利(-0.50%)が0.10%引き下げられる可能性が高まっていることで、ユーロ売り・円買い圧力がドル円の上値を抑える要因となっている。2日に豪準備銀行が政策金利を0.25%引き下げ、昨日はカナダ銀行が政策金利を0.50%引き下げており、豪ドル円や加ドル円の売り圧力もドル円の上値を抑える要因となっている。

ドル円のテクニカル分析では、3月2日の陽線(終値108.33円)は2月28日の陰線の実体部の中心値(108.82円)に届かず、昨日の陽線(終値107.53円)も3日の陰線の実体部の中心値(107.73円)に届いていないことで、売りの急所とされる「差し込み線」となっている。また、2月20日の高値112.23円から陰線新安値6手を数えたことで、下落トレンドが確認され、酒田五法では「新値八手十手は酒田の骨子」程度の下値模索が予想される。

昨日のドル円の安値は106.85円、日経平均株価の安値は20862.05円だったが、年金筋からの買いの噂で107円と21000円が防戦された。日経平均株価は2日の安値20834.29円、昨日安値20862.05円など、攻防の分岐点と見なされている株価純資産倍率(PBR)の20600円処が下値目処となっている。

■ドル買い・円売り

- ・米系ヘッジファンドによる四半期末に向けた日本株売り・円売り
- ・東京オリンピック中止リスクのヘッジ(日本株売り・円売り)

■ドル売り・円買い

- ・3月期末決算に向けたレパトリエーション(国外滞留資金の本国環流)
- ・新型コロナウイルス感染拡大懸念に対するリスク回避の円買い
- ・主要国政策金利引き下げを受けた外貨売り・円買い

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

○08:50 ◇ 対外対内証券売買契約等の状況（週次・報告機関ベース）

<海外>

○08:30 ◎ ブラード米セントルイス連銀総裁、あいさつ

○09:30 ◇ 1月豪貿易収支（予想：48億豪ドルの黒字）

○18:00 ◎ 10-12月期南アフリカ経常収支

○21:30 ◇ 2月米企業の人員削減数（チャレンジャー・グレイ・アンド・クリスマス社調べ）

○22:00 ◎ ホールデン英中銀金融政策委員会（MPC）委員、講演

○22:30 ◇ 10-12月期米非農業部門労働生産性・改定値（予想：前期比1.4%）

○22:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数／失業保険継続受給者数（予想：21.5万件／173.3万人）

○24:00 ◎ 1月米製造業新規受注（予想：前月比▲0.1%）

○6日 02:00 ◎ カーニー英中銀（BOE）総裁、講演

○6日 02:45 ◎ ポロズ・カナダ銀行（中央銀行、BOC）総裁、講演

○米財務省3年、10年、30年債入札条件

○石油輸出国機構（OPEC）臨時総会（ウィーン）

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

【前日までの要人発言】

4日 09:04 エバンズ米シカゴ連銀総裁

「リスクの高まりや景気低迷の可能性を考え、FRB 利下げが信頼感向上に寄与」

「新型コロナウイルスの米国への影響は短期的」

「四半期から半年間の成長鈍化後に米経済は反発」

「金融市場、現在起こっている全てのことに反応」

「米経済は依然として堅調と認識」

「緊急利下げ、FRB が危機対応チームの一員であることを示す」

4日 10:40 アーダーン NZ 首相

「新型コロナウイルスの影響は大きいだろうが長期的ではない」

「第一四半期の経済活動は限定されるだろう」

4日 16:10 黒田日銀総裁

「新型肺炎の日本経済への影響はすでに見られている」

「1-3 月期は新型肺炎の感染拡大が長引けば生産などへの影響が大きくなることを認識する必要」

4日 16:25 ルメール仏財務相

「ユーロ圏は財政刺激策の準備をするべき」

「コロナ危機には金融政策より財政政策のほうが効果的」

4日 19:45 デベル RBA(豪準備銀行)副総裁

「金融政策は依然として効果的」

「新型肺炎によるサービス輸出の落ち込みが第 1 四半期 GDP を 0.5%押し下げるだろう」

4日 23:01 欧州連合(EU)

「新型コロナウイルスの影響でイタリアとフランスにリセッションのリスク」

4日 23:35 バイリー英中銀(BOE)次期総裁

「資金供給で政府との行動必要と考える」

「BOE は 0.10%まで金利を引き下げることが可能」

「BOE の金融政策に関する余地があまりない」

5日 00:04 カナダ銀行(BOC、カナダ中央銀行)声明

「現在の見通しは 1 月よりも明らかに弱まった」

「必要なら、金融政策をさらに調整する用意がある」

「市場は引き続き機能するが、金融システムに十分な流動性を確保し続ける」

「BOCは G7 の中銀および財務当局と連携して、経済および財政状況を引き続き注意深く監視する」

「CPI インフレは一時的な要因により予想よりも強かった」

「インフレ指標はすべて約 2%のままであり、潜在性に近い経済状況と一致」

「健全な労働所得の伸びに支えられて、消費は予想よりも強かった」

「住宅投資は今年初めよりも緩やかなペースではあるが成長を続けた」

「事業投資と輸出の両方は弱まった」

「新型コロナウイルスは多くの国の人々にとって重大な健康上の脅威」

「経済活動が急激に低下し、サプライチェーンが混乱した」

「商品相場が下落しカナダドルは低下」

「ウイルスの感染拡大で企業と消費者の信頼感が低下し、活動がさらに憂慮される可能性」

5日 01:08 ブラード米セントルイス連銀総裁

「現在の金融政策は適切」

「新型コロナウイルスを巡る状況は引き続き不安定」

「今年前半の世界経済は打撃を受けるだろう」

5日 04:00 米地区連銀経済報告(バージュブック)

「米経済活動は緩やかなペースで拡大」

「新型コロナウイルスは旅行と観光に悪影響」

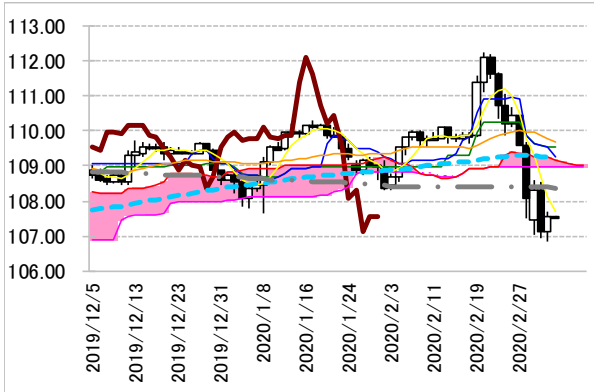
「新型コロナウイルスはいくつかのサプライチェーンに影響」

「大半の地区で販売価格がわずかに上昇」

「米個人消費は一般的に持ち直しましたが全体的に不均一」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

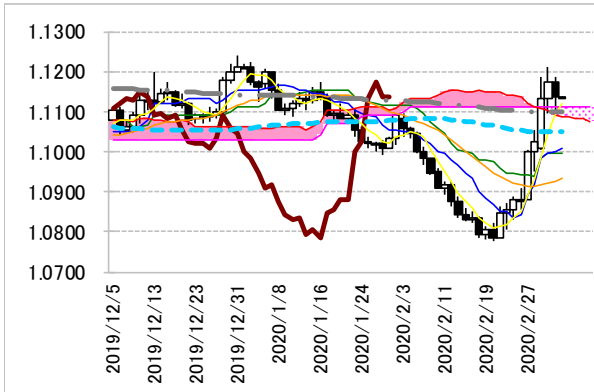


<ドル円=200日移動平均線を抵抗に戻り売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。毛抜き天井（112.23円・112.19円）から陰線新安値6手で下落しており、下落トレンド継続の可能性が示唆されている。

本日は、200日移動平均線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	108.97(日足一目均衡表・雲の下限)
レジスタンス 1	108.37(200日移動平均線)
前日終値	107.53
サポート 1	106.85(3/4 安値)
サポート 2	106.48(2019/10/3 安値)

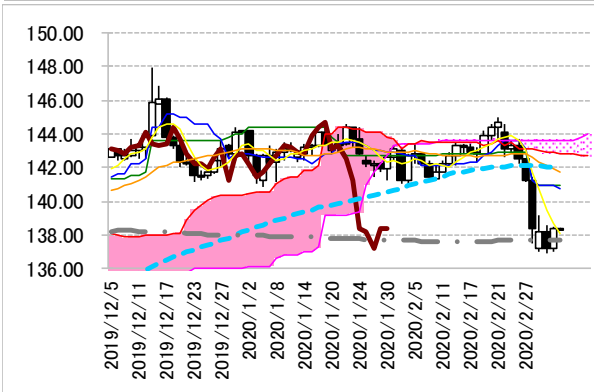


<ユーロドル=3/3 高値を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。2017年4月の窓(1.0738ドル・1.0821ドル)を埋められず陽線新高値7手で上昇したものの、高値圏での孕み線で反落の可能性が示唆されている。

本日は、3月3日高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1212(3/3 高値)
前日終値	1.1136
サポート 1	1.1085(日足一目均衡表・雲の下限)

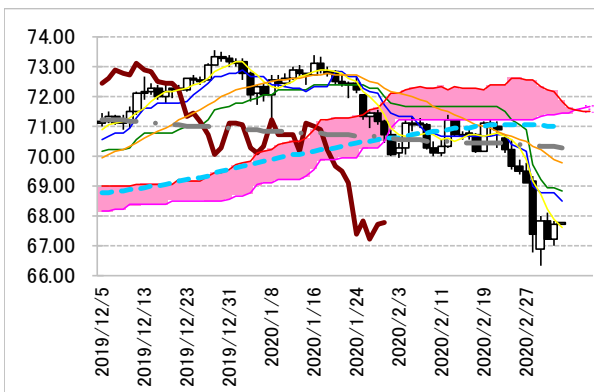


<ポンド円=3/4 安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。しかし、底値圏での抱き線で反発の可能性が示唆されている。

本日は、3月4日安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	139.19(3/2 高値)
前日終値	138.41
サポート 1	137.05(3/4 安値)



<NZドル円=3/4 安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。しかし、底値圏での孕み線で反戻しの可能性が示唆されている。

本日は、3月4日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	68.49(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	67.72
サポート 1	66.95(3/4 安値)

